

マーケットの動き (2024年3月11日～3月15日)

先週の国内リート市場は、前週末比で上昇しました。今年の春闘で企業から満額回答が相次ぐなど日米金利が上昇したことにより、国内リートは軟調に推移しました。その後、18～19日に日銀金融政策決定会合を控える中、持ち高調整による買いの動きがあり、週末にかけて上昇しました。セクター別では、オフィスセクターや住宅セクター、商業・物流等セクターが総じて上昇しました。

投資環境見通し (2024年3月)

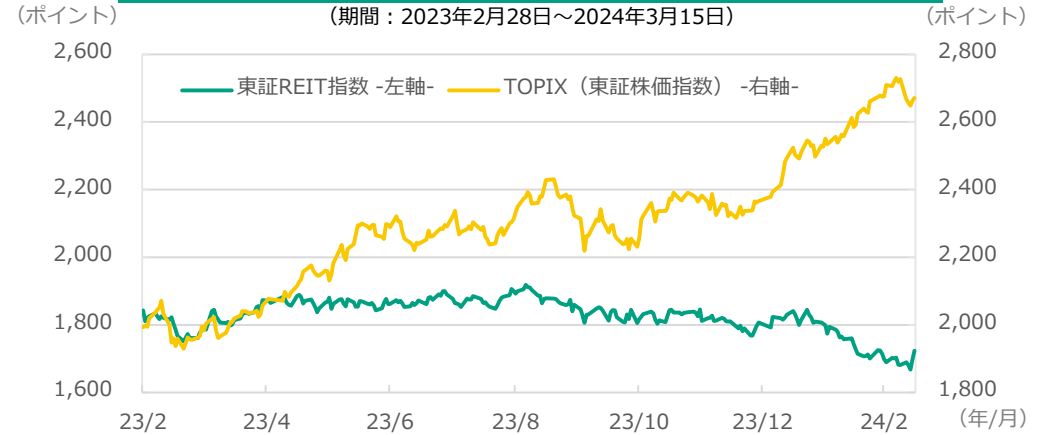
国内リート市場は、日銀の政策修正後、回復基調に転じると予想

日銀の金融政策修正に対する警戒感が相場の重石となり、昨年秋から国内リート市場は軟調に推移し割安感が強まっています。加えて、ホテルや住宅を中心に国内リーートの業績が拡大していることから、日銀の政策修正後には海外投資家や金融機関などの買いの動きが広がり、国内リート市場は回復基調に転じると予想します。

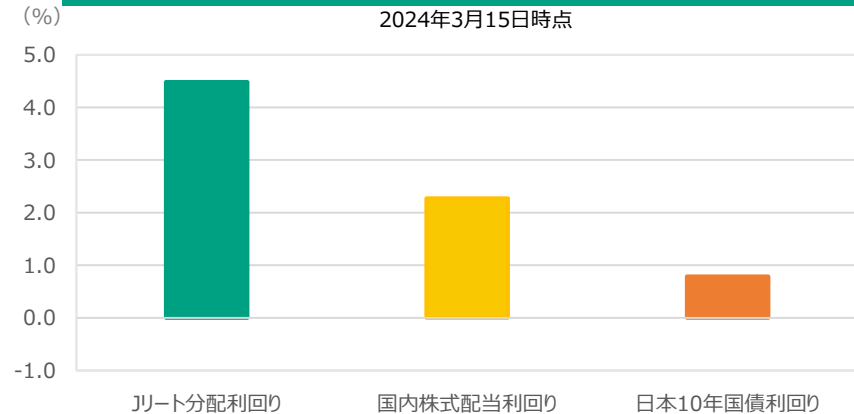
	3月15日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
東証REIT指数	1,723.92	2.51%	▲0.19%	▲8.22%	▲4.44%
<ご参考> TOPIX (東証株価指数)	2,670.80	▲2.05%	3.05%	9.98%	36.26%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

東証REIT指数、TOPIXの推移



国内各種資産利回り



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>